

「自分の生き方を考えよう」

～修学旅行先での様々な出会いから社会を知り、
課題解決に向けて一步を踏み出そう～

本単元で育成する資質・能力

つながる知識

主体性・協働性

思考力・判断力・表現力

- 1 日時 令和5年1月18日(水) 5時限目 13:20～14:10
- 2 学年 第2学年1組 (男子19名 女子15名 合計35名)
自閉症・情緒障害特別支援学級(ひまわり学級 女子1名)
- 3 場所 2年1組教室
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、3年間を通して実生活の「答えのない問い(答えが1つではない問い)」に対し、主体的かつ協働的に、より最適な方法でより最適な形にしていく力を養うために設定した探究課題、「働くことに向き合い、自分の生き方を考えよう」を踏まえて構想したものである。

修学旅行で訪れる鹿児島の人や自然、歴史、文化との出会いにより、様々な価値観に触れ、豊かな心を育て、自己の生き方を考えるきっかけをつくるために、他者と協働しながら考え、実現、実行していく学習活動に取り組む。それらを通して、答えのない問いに対して納得解や最適解を自分たちなりに見だし、自らの知識に留めるだけでなく、相手意識をもち、仲間との協働的な活動を通して最適解を導き出す学習基盤を作ることに繋がると考えた。また、「立志式」への取組に向けて、様々な人、もの、こととの関わりから、これまでの自分の生き方を振り返り、将来に向けて志を立て、それを他者に表現する活動に繋げるために、本単元を設定した。

(2) 生徒観

長江中学校の生徒の特徴として、話し合い活動は積極的に行うが、答えのない問いに対して意欲的に取り組めないだけでなく、他者と意見をすり合わせながら、解を導き出すことを不得意としている実態が見られる。

1学期の後半から職場体験学習プログラムとして「インターン」に取り組んだ。企業にインターンするシミュレーション活動を行い、街頭アンケート調査や企業の取組について発表する活動を通して、働くことについて考えた。アンケート結果からインターンを通して、地域の人のような初対面の相手に話しかけたり、情報の収集を行ったりすることはできるが、収集した情報をもとに考察を行うことは不得意であるという結果が示された。

質問	肯定的回答
① 授業で学習した他地域と、尾道を比較したり関連付けたりして考えています。	64.9%
② 総合では、自分で課題を立てて情報を集め、整理・分析しています。	86.2%
③ 集めた情報を組み合わせて、考察を行うことができます。	68.4%
④ インターネットに載っている情報が正しいかどうかは、他の情報と照らし合わせながら判断しています。	69.9%
⑤ 地域の方など、学校以外で会う人と積極的にコミュニケーションをとることができます。	59.7%

自分で課題を立てて情報を集め、整理・分析することができている生徒が 86.2%だが、集めた情報を組み合わせること、考察や比較、関連付けができる生徒は 68.4%であり、インターネットに載っている情報が、正しいかどうかの判断はできていると感じる生徒が 69.9%であった。このことから情報の整理・分析はある程度できるものの、情報を比較する力、精査する力、考えを言葉で表現する力が弱く、表面的な整理・分析に留まっていると考えられる。さらに、学校以外で出会う人と積極的にコミュニケーションを取ることができるかと回答した生徒が 59.7%と、初対面の相手と円滑にコミュニケーションを取ることには課題があると考えられる。

(3) 指導観

生徒観で述べた課題を解決するために、次の 3 点の指導の工夫を取り入れる。

1 点目は、話し合いの際に、思考ツールを活用し、比較、分類ができるように、生徒の考えを可視化することで、生徒同士のかかわりの質を向上させたい。

2 点目は、調べ学習のみに留まらず、内容や表現形式が多様で答えが 1 つではない課題、各学習過程で個人思考を重ねて自ら最適解を考え続ける場面と集団思考で互いの考えに指摘、アドバイス、共感し、意見をすりあわせながら最適解を導き出す場面を設ける。

3 点目は、学級や学年の中での集団思考だけでなく、異年齢、自分たちの住む地域、他地域の方とかかわる場面を多く設定し、コミュニケーションスキルを身に付けることができるようにする。

「課題の設定」の場面では、修学旅行で民家へ訪れた際の会話の中で、広島県に住む自分たちの視点や感覚で、鹿児島県に住む人に聴いてみたいことを考える、という活動を設定した。

「情報の収集」の場面では、Chromebook を用いて、インターネットで鹿児島県に関する様々な情報を集める。インターネット上の情報を鵜呑みにする生徒が多い実態を踏まえ、個人で調べた情報を交流する活動を行い、情報を吟味する場面を設定する。

「整理・分析」の場面では、鹿児島への修学旅行の民家体験中に、広島県民として聴いてみたい質問を考えさせる。また、質問を考える際には、ベン図等の思考ツール図を活用し、広島県と鹿児島県の事象の相違点などを考える活動を設定する。本時では、個人が考えた質問を事象ごとにカテゴリー分けし、カテゴリ化されたグループの中で、質問を交流させ、調べた情報が反映された質問であるか、広島県民ならではの感覚を踏まえたものであるかといった視点で改善案を導き出させる。また、参観される先生方からもアドバイスをいただき、より多くの人からの視点や評価を受ける場面を設定する。これにより、自己の主観的評価だけでなく、他者からの客観的な視点や評価、アドバイスを受けて整理し、自分の考えた質問に活かすことで、自分なりの最適解を導き出す力も養っていききたい。

「まとめ・表現」の場面では、修学旅行で関わった方との出会いを通して、それまでの自分になかった視点や感覚など、新たに発見したことをもとに、これからの自分の生き方にどう反映させていきたいかを考えさせる。この単元で完成した修学旅行のまとめを立志式に向けた立志宣言文を考える材料としていきたい。

5 単元の目標

人との関わりを通して、鹿児島県と広島県の自然や文化、歴史に対する物事の捉え方や認識の違いを学び、見識を深め、他者から学ぶことで、これからの自分の生き方についてつなげられるようにする。

6 単元を貫く問い

【単元構想シート】所属・作成者（尾道市立長江中学校 瀬元 翔 ）

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

校種・学年 中学校 2年

教科等 総合的な学習の時間

単元（題材）名 「自分の生き方を考えよう」

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

自分を成長させるために、他者から学べることは何だろう。

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

よりよく生きるために、身につけるべき力は何だろう。

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・広島県と鹿児島県で共通する／異なる事象は何だろう。
- ・他者にわかりやすく伝えるために必要なことは何だろう。

単元計画の 構想を立てる

- ・単元計画を立てる
- ・鹿児島県について調べる
- ・課題を設定する
- ・課題解決に向けて情報収集をする
- ・収集した情報を活用する
- ・実行する
- ・振り返りをする

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①検索ワードを工夫して、多くの角度から鹿児島や広島、尾道の情報を集め、人々の思いや共通点、相違点について、理解している。</p> <p>②課題解決に向けた情報収集を相手や場面に応じ、適切に実施している。</p> <p>③人やもの、ことのかかわりが、自分の見識を広げ、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解したのは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①課題を解決するための必要な情報について、収集方法を選択したり、複数の情報を種類ごとに分類したりしながら、蓄積している。</p> <p>②収集した情報を活用し、鹿児島や広島、尾道といった異なる視点から、多角的に課題について考察している。</p> <p>③相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①かかわりを通して、お互いのよさに気付いたり、他者の考えを受け入れたりしながら、課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>②自他の意見や考えのよさを生かしながら課題解決に向け、協働して修正・改善を繰り返し、粘り強く最適解を導き出そうとしている。</p> <p>③人とかかわりの中で、自己の生き方を考え、今、自分のできることを見つけ社会に貢献しようとしている。</p>

8 単元で育成を目指す資質・能力ルーブリック

資質・能力		評価	
		A	B
学びに向かう力, 人間性等	主体性	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて自分の意見を持ち、集団の中での自分の役割を考えながら課題に進んで取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決に向けて自分の意見を持ち、課題に進んで取り組もうとしている。
	協働性	<ul style="list-style-type: none"> 他者や集団の中で、互いのよいところを引き出し合い、協働関係を築きながら、課題解決に向けて粘り強く取り組むことができる。また、相手意識を持ち、課題解決に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の意見や考えのよさを生かしながら、課題解決に向けて協働して学び合うことができる。

9 指導と評価の計画（全 23 時間）【本時 15/23】※生徒の思考状況によって、随時変更。

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
情報の収集 1 修学旅行を通して、自分の生き方について考えよう。（9） 整理・分析 課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で行く鹿児島県についての情報を集める。 知覧（特攻隊）、水俣病についての情報を集める。 尾道（広島）のこと、人の思いを調べ、鹿児島との共通点や相違点を考える。 	①	①		行動観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を整理、分析し、自分たちが探究すべきテーマを設定する。目的を共有する。 自分たちの目標を達成するためのおおまかな学習計画を立てる。 			①	行動観察 ワークシート
情報の収集 2 鹿児島県について調べ、聴いてみたいことを見つけよう。（3）	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を内容ごとに分類し、傾向を探る。 探究課題の解決に向けて、まだ必要な情報がある場合は収集し、蓄積する。 	②	②		行動観察 ワークシート

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
整理・分析 3 課題解決のために、質の良い質問に練り上げ、決定しよう。 （5） 【本時3／5】	<ul style="list-style-type: none"> 思考ツールを用いて、「広島県民」の視点から、鹿児島県民へ聴いてみたい質問を考える。 質問をグループで持ち寄り、広島（尾道）に住む者としての想いや感覚を踏まえた、最適な質問を考える。また、グループのメンバーだけでなく、他者からもアドバイスをいただいて、質問をグレードアップさせる。 参観に来られた先生方からいただいたアドバイスを活用した質問を交流して、各グループで最適解になっているか吟味し、質問に修正・改善を加える。 探究課題の解決策について、根拠をもとに考え、決定する。 	①		②	行動観察 ワークシート
まとめ・表現・創造 振り返り 4 修学旅行から学んだことを、今後の自己の生き方に活かそう。 （6）	<ul style="list-style-type: none"> 決定した質問を、修学旅行先で実際に聴いてみる。 聴きたかった情報が得られたかどうかを振り返り、まとめを行う。 修学旅行のまとめを作成し、自分が新たに発見した視点や情報を整理する。 		③	①	行動観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を通して、資質・能力の獲得や自己・相互による取組などを振り返り、今後の自己の生き方について考える。 	③		③	ワークシート

10 本時の展開

（1）本時の目標

他者の意見を活用して、質問をグレードアップさせることができる。

（2）本時の準備物

・ワークシート ・クロームブック ・ホワイトボード ・電子黒板 ・パソコン

（3）本時の主体的・協働的な学びを促す手立て

同じ視点をもつグループ内で質問を交流し合う。また、参観される先生方からアドバイスをいただくことで、多くの視点から最適な質問を考えさせる。【見所】学習活動4・5

(4) 本時の評価基準 《主体的に学習に取り組む態度②》

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手立て (C)
<p>・自他の意見や考えのよさを生かしながら課題解決に向け、協働して修正・改善を繰り返し、最適解を導き出すことができる。また、自分の質問についても新たな気づきを発見することができる。</p>	<p>・もらったアドバイスを整理し、協働して改善案を提案し、最適解を導き出すことができる。</p>	<p>・質問を改善するために必要なアドバイスは何かを整理し、改善点を共に見つけ、自分たちとは異なる地域に住む人ならではの視点がある何かを引き出す。</p>

(5) 本時の学習展開

	学習活動 ★主体性・協働性を高めるための活動	◇指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への支援	評価規準 (評価方法)
導 入	<p>1 『聴いてみたいこと』をジャンル分けし、同じジャンル同士でグループをつくる。 (1グループの目安4人)</p> <p>2 前時の『広島県民として鹿児島県民に聴いてみたいこと』を確認する。</p>	<p>◇事前にジャンル分けしたグループを提示し、授業開始時にグループ別の座席に着席させる。</p> <p>◆前時の振り返りから、学習課題を確認し、見通しをもたせる。 ◇前時までの流れから、本時のめあてを生徒と共に明確にしていく。</p>	
	<p>めあて 他者の意見を活用して、質問をグレードアップさせることができる。</p>		
展 開	<p>3 グループの中で質問を交流する。</p> <p>★4 グループごとに2つの視点から質問を吟味し、実際に質問を行い、アドバイスをいただく。</p>	<p>◇視点① 広島（尾道）に住む者としての想いや感覚を踏まえたものであること。 視点② 前時までに集めた情報（知識）を活用できていること。</p> <p>◇参観者からも視点①のアドバイスを得させる。 ◇「どう伝えるか」も考えさせる。 ◆グループ全員が話せるように、役割分担を示す。</p>	

<p>展 開</p>	<p>★5 アドバイスやグループの仲間と協働し、アドバイスを整理して質問をグレードアップする。</p> <p>6 Google スライドをグループで2枚ずつ作成し、全体で共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>1枚目：持ち寄った質問 2枚目：グレードアップした質問</p> </div>	<p>◇アドバイスを整理し、自分たちの意見とのすり合わせ・比較し、新たな視点をもたせる。</p> <p>◆質問を改善するために必要なアドバイスや、自分が何を聴きたいか、どんな話を聴き取りたいかを考えさせる。</p> <p>◇作業の指示とひな形を載せたスライドを提示する。</p> <p>◆発表にひな型を用いることで、修正・改善点が伝わりやすい発表を促す。</p> <p>◇『～の視点が欠けていたので、～というアドバイスを踏まえて』の形を取る。</p>	<p>もらったアドバイスを整理し、協働して改善案を提案し、最適解を導き出そうとしている。 (行動観察・ワークシート)</p>
<p>ま と め</p>	<p>7 振り返りを記入する。</p>	<p>◇振り返りの視点を与え、簡潔に書かせる。</p> <p>①今日の学び ②これからのこと ③疑問、今後の課題</p>	